

令和3年度WWLコンソーシアム構築支援事業

希望に満ちた未来を創るリーダー育成システムの構築

～地場産業の町・日本の穀倉地帯からSDGs達成を目指す～

管理機関 新潟県教育委員会

事業拠点校 新潟県立三条高等学校

説明内容

- 1 目指す姿（育てたい生徒像）
- 2 構想概要
- 3 これからの取り組み
～カリキュラムの開発～
- 4 これからの取り組み
～ALネットワークの構築～

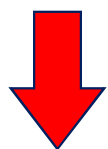
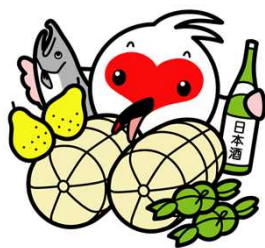
1 目指す姿（育てたい生徒像）

「SDGs達成を目指し、希望に満ちた
未来を創る『提言・挑戦型』リーダー」

2 構想概要

(1) 拠点校のある県央地域とは

- ア 金属加工業が盛ん
- イ 世界に進出する企業が多い
- ウ 日本を代表する
穀倉地帯・越後平野



地場産業の町・日本の穀倉地帯から
世界的視野に立ちSDGs達成を目指す



2 構想概要

(2) テーマ：SDGs（地場産業・農業・環境をもとに）

- 地元企業・機関等と連携し、各種課題の理解を深める
- 海外の高校・大学等とのオンライン交流・国際会議、海外フィールドワークを通じ、視野を広げて課題を捉え直す
- 課題解決を目指して探究を深め、成果を発信するカリキュラムを開発

3 これからの取組 ～カリキュラムの開発・実践～

【学校設定科目】

① 「グローバル探究」 3単位（各学年1単位）

「地場産業」、「農業」、「環境」を基本テーマとし、SDGs達成に向け、課題研究活動を行う。

〔主な内容〕

ア グローバルフィールドワーク

- ・ テーマに関係する場所・対象を訪れ、調査・研究

イ WWL特講

- ・ 大学教員による現代社会・現代科学に関する授業

ウ 課題研究

- ・ 大学、企業、研究機関等からの指導や大学院生等によるTT
- ・ 課題解決策を地域と協働して実行、その成果を検証
- ・ 研究成果の発表

② 「WWL 情報科学」 1 学年 2 単位

- ・「情報の科学」の学習を基にしながら、統計処理を含めたデータサイエンスを加え、事業協働機関と連携してカリキュラムを開発する。
- ・大学等のオンライン授業に、モバイルWi-Fiやタブレット端末を組み合わせた場所を選ばない高度な学びの実践研究。

③ 「SDGs 世界史」 2 学年 2 単位

- ・「世界史 A」の学習を基にしながら、近現代の地理的・政治経済的条件の中で SDGs や新潟の地域課題に関連する内容を加え、事業協働機関と連携してカリキュラム開発する。
- ・グローバル探究で設定した課題の背景や関係課題を把握するなどにより課題解決学習に関連させる。
- ・大学等との遠隔授業による TT を実践する。

3年間の指導の概要

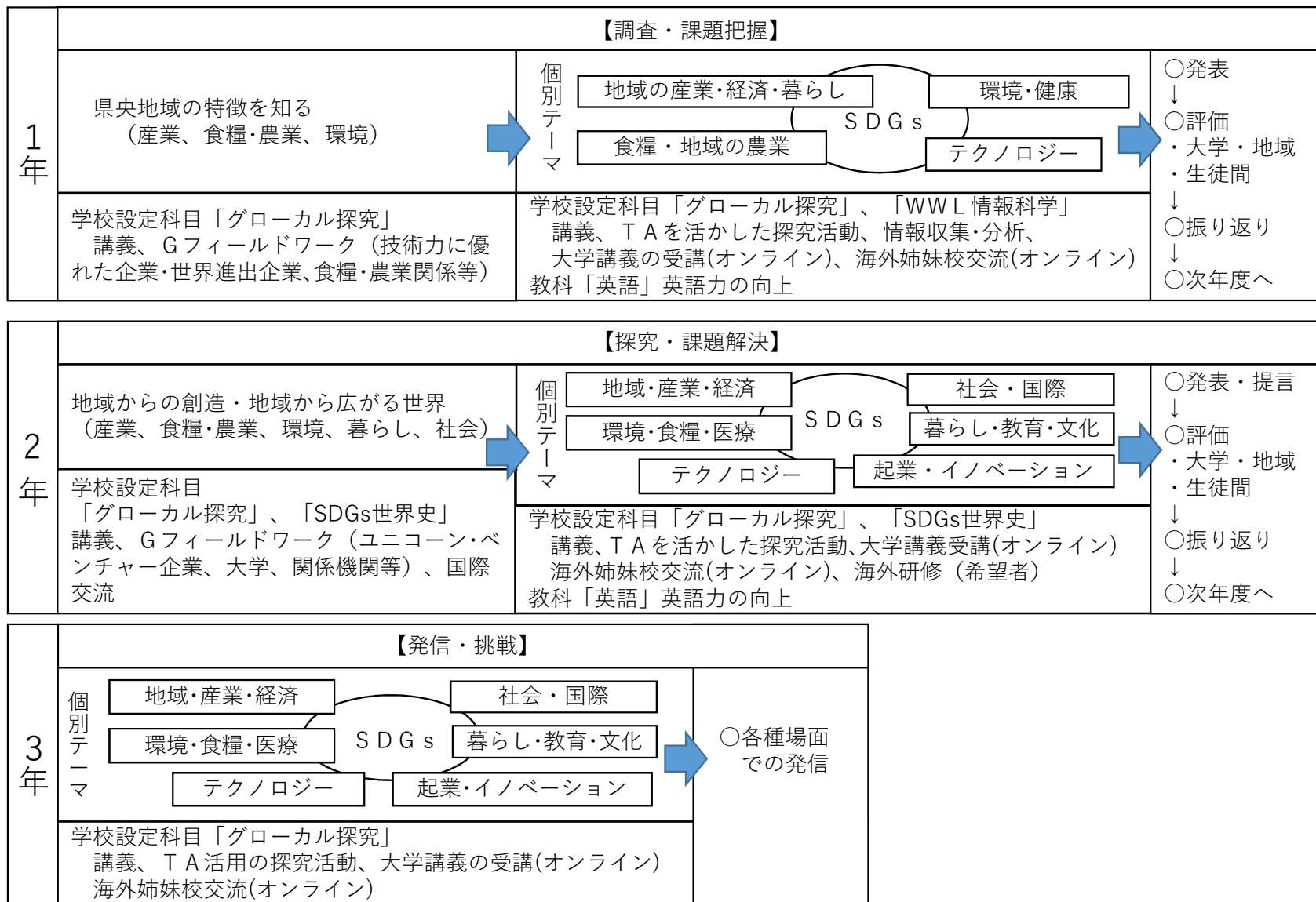
育てたい資質・能力

課題を理解する力
・知識
・情報の収集と分析力

課題を探究し解決する力
・知識、情報、技術の活用
・協働する力

表現・発信するスキル
・語学力（日本語、英語）
・ICTスキル

成長型マインドセット
・多様な価値観の人々との協働
・未来への希望を持ち挑戦する勇氣



4 これからの取組 ～ALネットワークの構築～

A 県央ネット

県央地区の普・農・工・商・中等教育学校のネットワークにより、地域探究の視点の幅を広げる。

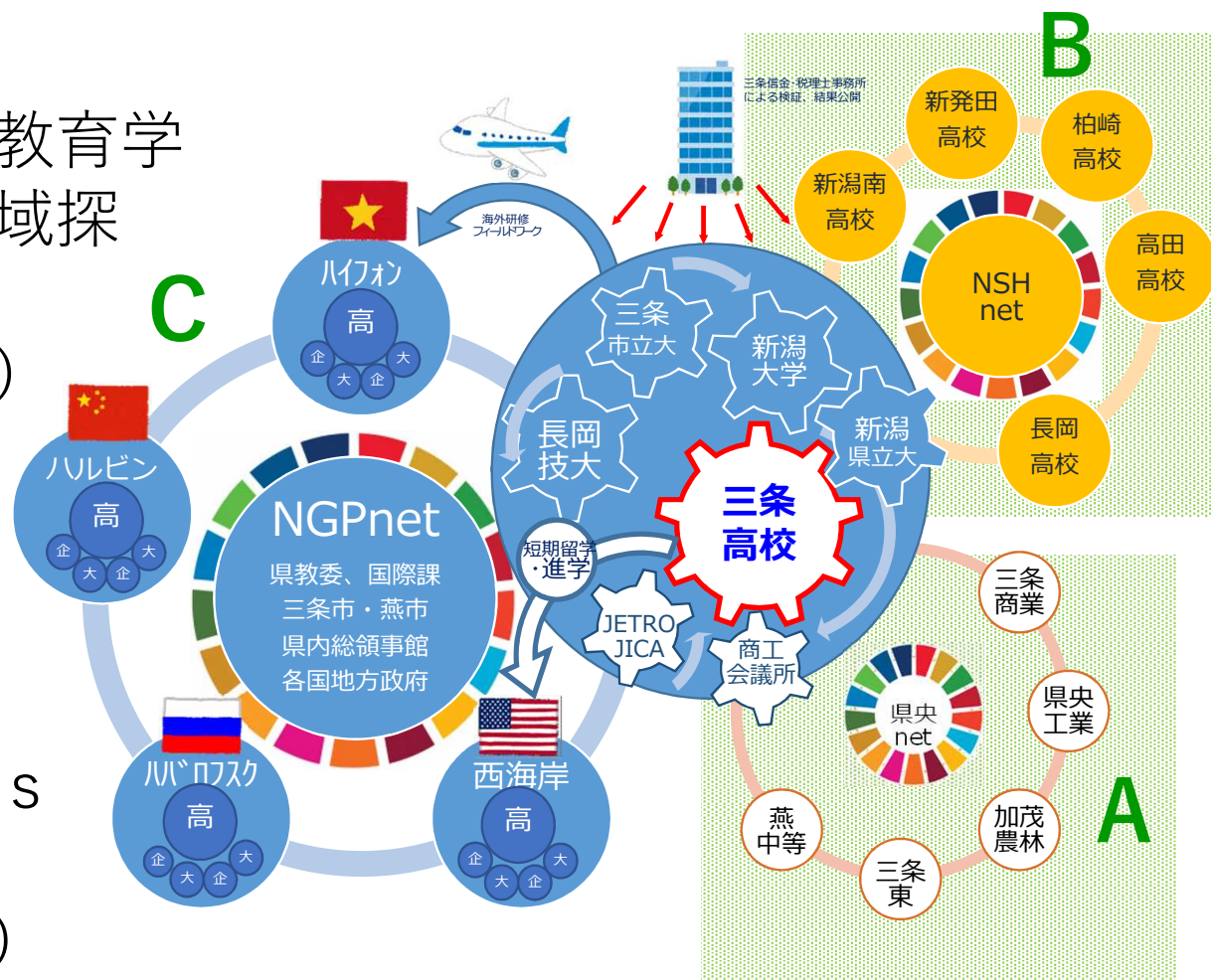
(2月にフォーラム開催予定)

B NSHネット

(新潟スーパーハイスクールネット)

県内SSH校、SGH実績校とのネットワークにより、SDGs探究の深度を深める。

(3月にフォーラム開催予定)



C NGPネット

(新潟グローバル・パートナーズ・ネット)

- 海外の連携校や各機関とのネットワークにより、実践的にワールドワイドの感覚を養う。(10月以降交流会実施予定)

[海外の連携校]

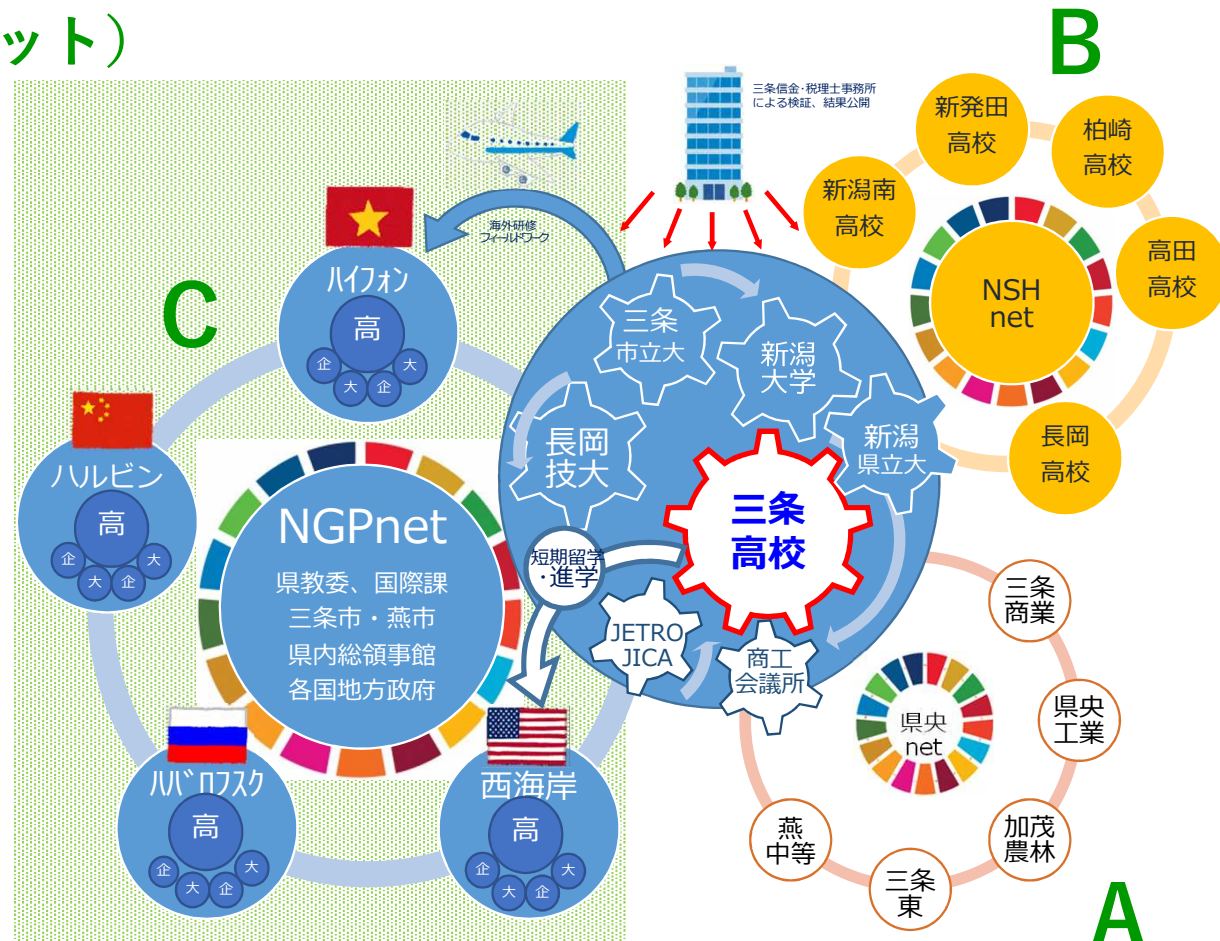
ベトナム チャンフー高校

中国 黒竜江省実験中学

ロシア 地方立教育機関

「地方教育センター」

アメリカ 調整中



今後に向けて

- ・ 情報発信に向けた、語学力・コミュニケーション力の育成
- ・ 評価方法の構築と活用